

令和4年度 予算審査特別委員会



3月18日、22日の2日間、公営住宅建設事業（6億6,912万円）小・中学校長寿命化改修工事（5億365万円）などが盛り込まれた新年度予算案を審議しました。

活発な質疑が行われ、その一部を要約して掲載します。

質疑の主な内容

総務費

地域おこし協力隊について

Q これまでの3人に加え、企業研修型の隊員を2人増やす見込みであるが、どのような位置付けで、どのような活動を行うのか。

A これまでは主に行政連携型で、役場に籍を置いて職場も役場であったが、町内の企業にもたくさん課題があるため、町の会計年度任用職員の位置づけで、職場は企業において働くこととなっており、活動場所は、現在、商工会を考えている。

投票所について

Q 投票率の向上のため「靴を脱がなくても入れる」「段差の解消」等投票所の改善は出来ないか。

A 全町23か所と他の自治体に比べ多くの投票所を設置し投票率向上に努めている。

反面、段差解消等に至っていない投票場があり介助等を行うよう指導し、投票をしやすい環境の整備に努めるとともに、選挙管理委員会では、投票所の在り方も含め、投票率の向上について検討を開始している。

LINE配信について

Q 町では、防災情報に特化してLINE配信をしているが、今後、行政情報についてもLINEを活用する計画はないのか。

A 町は防災環境を主目的としてLINEのアカウントを取得しているが、無料のアカウントであり登録している全員に発信されるため、広くお知らせする情報のみを発信している。他町では有料のアカウントを取得し、受信者の条件を絞ったの情報発信を行っているものもあり、他町の状況、情報を十分収集し、費用対効果を含めた中で、今後、導入に向けて検討していきたい。

内水ハザードマップについて

Q 下水道管などから浸水する排水処理能力を加味した、内水ハザードマップの策定する考えは。

A 令和3年に水防法、下水道法が改正となり、下水道の浸水想定区域図が作られることとなった。令和5年、6年にかけて、ハザードマップの基礎となる図面が作られる予定であり、それができ上がった段階で、内水ハザードマップを作ることが可能になり、その後周知しなければいけないと考えている。

コミュニティバスについて

Q コミュニティバスの停留所を状況に応じて、改善を図る考えは。

A 平成30年にダイヤ改正を行い、アンケート等の状況からコースや停留所位置の変更を行った。令和5年度には再度アンケート調査を実施し、住民ニーズを踏まえながら、協議会の中で検討したい。

民生費

ふれあいセンター福寿改修工事について

Q 駐車場の再整備および緑地広場にある遊具の更新となっているが、どのような工事なのか。

A 駐車場全体の抜本的な改修と併せて、現在の駐車場の土を入れ替えるため、余った残土を福寿の北側に盛って、学童や保育所の児童が遊べる遊具を設置する予定である。

家庭的保育事業所運営事業について

Q 保育の内容が、公設の基準に基づいた運営になるのか。町との関係はどのようになるのか。

A この事業は令和4年度からの新たなもので、国の保育支援に基づいた運営であり、町も運営については関わっていききたいと考えている。

《主な新規事業、拡充事業など》

【活力に満ちた産業のまちづくり】

幕別地区公社営草地整備事業委託料

1億1,502万5千円

【暮らしを支えるまちづくり】

家庭内保育事業所の新規参入支援

1,505万1千円

【安心・安全なまちづくり】

二酸化炭素排出抑制対策事業

1,000万円

【元気な教育・文化・スポーツのまちづくり】

アスリートと創るオリンピックの町創生事業（拡充）

382万円

【幕別町の地方創生推進事業】

UIJターン新規就業支援事業（拡充）

100万円

【新型コロナウイルス感染症対策事業】

※感染症対応分、事業者支援及び地域経済対応分（継続）

2億3,480万4千円

衛生費

子宮頸がんワクチンについて

Q 子宮頸がんワクチンの副反応、後遺症も含め町の認識やデメリットの周知はどのようにされているか。

A ワクチン接種の案内をするときに、丁寧にリスクと有効性を説明し、接種を受けようと考えている方が、正しくその人に合った判断ができるように説明をしていきたい。

農林業費
育苗センターについて

Q 育苗センターの生産物販売が減っており、将来的に苗販売を終了していきたいと聞いているが、今現在どのような計画もっているのか。

A 平成23年度の霜の被害、平成27年度の風の被害により、苗が育たない状況である。また、雇用の場の確保のため忠類村時代から営業してきたが、労働者の高齢化もあり、令和6年度の春出荷をもって閉鎖する予定で、北海道並びに北海道種苗協同組合と協議している。現在空いている畑が出た場合は、公募により畑として貸し出しており、今後、利用しなくなった場合は、町としてその活用を検討していく。

商工費

広域観光周遊促進事業、南十勝夢街道プロジェクトについて

Q 2つの事業を結びつけた、複合的な取り組みは可能だろうか。

A 観光物産協会のホームページや各々の事業のサイトで情報発信を行っている。広域連携の町村とも協議していきたい。

土木費

通学路について

Q 小学校の通学路で歩道と車道の区別がない危険な場所は、本町にどれほどあるのか。また、整備についてどのように考えているのか。

A 通学路の点検は教育委員会と道路管理者合同でおこなっており、昨年9月の点検では、町内12カ所見つかかり、区画線の整備や除雪、草刈りによる歩道幅員確保を行い、横断歩道等については公安委員会に要望をしていく。

公園のトイレについて

Q 公園のトイレは、冬期間は閉鎖されているが、解放できないのか。

A 現在は冬期間使用できない状況になっている。除雪や施設の凍結の関係も含め、検討していきたい。

教育費

中学校の制服について

Q 性的少数者に配慮する観点から、制服の選択肢が設けられる動きが道内でも広がっている。本町の中学校でジェンダーレス制服の検討がなされているのか、そういう声が上がった学校はないのか。

A 話が出た場合、保護者とも話し合いながら、どちらの制服も選択できるような体制にはなっている。ただ、男女兼用の制服とか、全てを変えることについては、あくまで各学校での対応になると思っている。

Q 文部科学省が、令和4年度から新入学児童の学用品等を3000円引き上げるという決定をしているが、町も同じような対応を取るのか。

A 町としても同じ対応で同様に行っている。

